

第10回連携訓練 冷水拡幅冷水地区構造物他整備工事での合同訓練

和歌山県の丸山組（株）が施工する「冷水拡幅冷水地区構造物他整備工事」の現場で、第10回の合同訓練を実施しました。近畿地方整備局企画部様の出前講座を受講し、災害時対応・救急救命訓練（バールを使用した重量物移動、応急担架の作成、救命救急・消火訓練）を体験しました。女性21名によるなでしこBC連携パトロールも合わせて実施しました。



なでしこミーティング議事録

1. 日 時	H29. 6. 30(金) 11:45~12:00
2. 場 所	和歌山県海南市民会館 2Fホール
3. 出席者	<p>和歌山県 丸山組(株) HIGAGUMI(株) (有)NAO企画</p> <p>岡 山 県 天野産業(株) (株)福井組 (株)大竹組 (株)亀井組 (株)北岡組 (株)吉岡組 (株)井上組</p> <p>徳 島 県 徳島市消防団</p>
	<p>今回は、急遽 なでしこミーティングを開催する事となりました。 今後は事務局として、天野産業(株) リーダー、(株)大竹組 が補助する形となりますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>【開催の経緯】 現在は、なでしこパトロールとして活動を行なっているが、5月12日になでしこランチを開催した際に、なでしこパトロールから一步先を見据えて活動していくことの話し合いがなされた。その後、この活動の一環としてCEART訓練を行ないたいと打診があったが、今回の和歌山のなでしこパトロールで、緊急時対応訓練(バールによる重量物移動、応急担架作成、救命救急、消火訓練)を行なうことになっているので、終了後にアンケートを実施し、これに代えることを伝達。現状では、なでしこパトロール時に女性が集まるのも調整をして参加している状況(事務系職員の参加が多い為)であり、パトロール以外で度々集合するのは難しい状況にある。今回の緊急開催は、①水面下で動いている情報の伝達 ②事務系職員が頻繁に集合することが難しいことを各社BC連携担当者に理解してもらう ③なでしこBC連携担当者の連絡網以外に、女性の連絡網を作成 これらを相談する為に開催する運びとなった。</p> <p>※ CEART訓練とは ロサンゼルス市の消防庁によって開発された地域住民の自主防災組織(Community Emergency Response Teams)のことです。「自分の命は自分で守る」という「自助」に加え、「自分たちの地域は自分たちで守る」という「共助」の精神に基づく取り組みです。</p> <p>(1)なでしこの活動について ①各社参加している女性に積極的に参加してもらいたい。 ②連絡方法としてなでしこ連携連絡表を作成する。 各社で担当者2名を決め全員で情報を共有していく。(①②を決めておく)</p> <p>(2)今後について ①CEART訓練を行う。(6/30のバールによる重量物移動、応急担架作成、救命救急、消火訓練をこれに代える) 訓練後にアンケートを行ないますので、ご協力お願いします。</p> <p>②8月は、机上訓練を行う→災害時自分に何が出来るかなど判断能力を育成する。 緊急時の「情報管理」「危機広報」「資源管理」など、女性が支援できることを整理していく。また、正しい情報を実行部隊に伝達できるように「情報トリアージ」手順を標準化していく様にする。</p>

	<p>③BCP研究部会・徳島勉強会を開催しているので出席出来る方はお願いしたい。</p> <p>④2ヶ月に1回のペースでなでしこランチを実施したい。</p> <p>※なでしこパトロールのあとは、意見交換会(4分野の研究部会)を行いたい。</p> <p>4分野の研究部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ■BCP部会 単体及びBC連携におけるBCの実効性向上のための取り組み ■安全・環境部会 現場の安全管理の向上に向けた取り組み 現場の環境対策(騒音、振動、濁水等の対策)並びにCO2削減等の取り組み ■技術部会 i-Construction推進、工事現場の新技術活用のための取り組み ■女性部会 <u>現場作業環境の向上のための取り組み</u> <u>女性雇用・若年者雇用推進のための取り組み</u>
橋本	<p>先日は、アンケートに協力いただきありがとうございました。 今後もご協力お願いいたします。</p>



災害時対応・救急救命訓練 アンケート結果

実施日時 平成 29 年 6 月 30 日（金） 13:05~14:00

実施場所 和歌山県海南市冷水 325-13

アンケート回答者数 13 名

【バールを使用した重量物移動体験】

約 270kg の移動	体験した (12)	体験していない (1)
簡単に動かすことが出来た（女性でも可能）(9)		
動かすのが難しかった (3)		
全く動かなかった (0)		
〈まとめ〉 「意外に簡単だった」という意見があった反面、重量物を横にずらして移動させるにはコツを掴む必要があるといった意見も多数あった。てこの原理（支点・力点・作用点）をうまく使うことが出来れば、女性でも可能と判断する。		



約 100kg の移動	体験した (7)	体験していない (6)
簡単に動かすことが出来た（女性でも可能）(7)		
動かすのが難しかった (0)		
全く動かなかった (0)		
〈まとめ〉 100kg の重量物であれば、女性でも簡単に動かすことが出来る。		



約 70kg の移動	体験した (4)	体験していない (9)
簡単に動かすことが出来た（女性でも可能）(4)		
動かすのが難しかった (0)		
全く動かなかった (0)		
〈まとめ〉		
70kg の重量物であれば、女性でも簡単に動かすことが出来る。		



【応急担架の作成体験】

作業着を使った応急担架作成	体験した（6）	体験していない（7）
簡単に作ることが出来た（5）		
作るのは難しかった（1）		
〈まとめ〉		
「簡単に作れた」「身边にあるもので担架が作れることを知った」という意見があった反面、「見た感じよりも難しかった」という意見もあった。また、男性を担架に乗せて女性2名で持ち上げるのは無理であったが、女性4名での持ち上げには成功した。女性で担架に乗った人からは「頭を置く位置を注意しないと頭が下に落ちた」「ケガ人や病人を運ぶとなると危険を感じた」という意見があった。担架作成の注意点、担架使用時（乗せる時、運ぶ時など）の注意点を纏めておくと良い。		



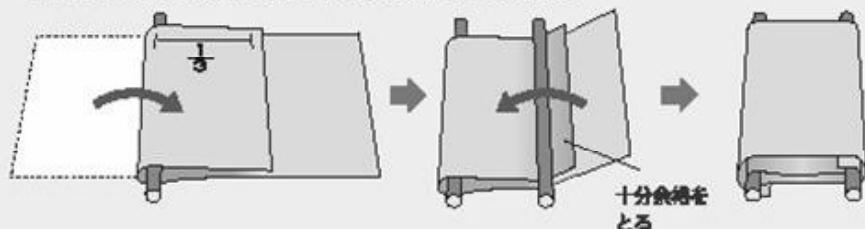
【記付用】

応急担架の作り方

動けない人を運ぶときは、衣類や毛布を使って応急担架を作ります。

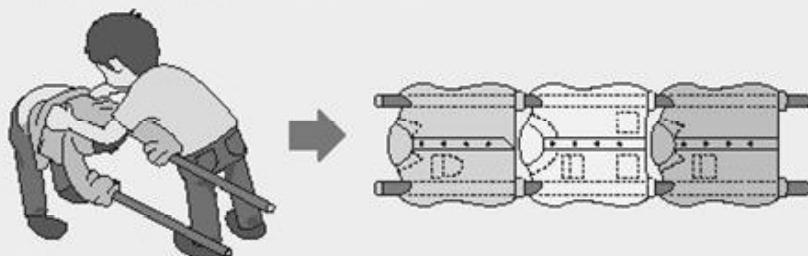
①毛布を使う

毛布の1／3のところに棒を置いて、毛布をおり返して作ります。



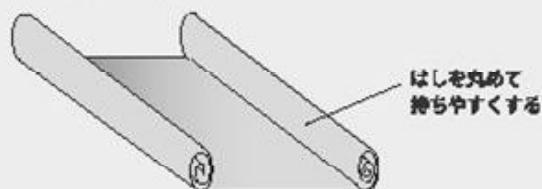
②上着を使う

図のように、2本の棒に上着（S着以上）を通しておきます。



③毛布のはしを丸める

毛布のはしを丸めて、持ちやすくしておきます。



「EDISONスクールガイド 救助技術主義ガイドブック」(CART会、財團法人日本防災促進会公社、NPO法人プラス・アーツ)に基づき作成

- ◆ 服を使用する担架を作る場合、棒を片方ずつ両手でつかみ、服を脱ぐのが一番早い。
- ◆ 女性の場合や一人の時など、持ち上げるのに無理がある場合はね毛布などでクレープのように包み、頭の方を持ち上げ引きすることも可能。

【救命救急】（複数回答可）

救命救急	体験した（2）	体験していない（11）
初期対応の一連の流れが理解出来た（1）		
心肺蘇生法が理解出来た（緊急時に対応出来る）（1）		
AED の使用方法が理解出来た（緊急時に使用出来る）（0）		
心肺蘇生法・AED の使用方法について、少し理解が出来た（少しは出来そう）（2）		
心肺蘇生法・AED の使用は出来そうにない（0）		
〈まとめ〉 当日は限られた時間の中での訓練だったので、心肺蘇生法・AED の使用方法の説明を聞く間に大半をしめ、1ペアのみの訓練となった。但し、過去に普通救命講習を受講した人もおり、定期的に訓練する必要性があると意見があった。		



- ◆ AED は普段からどこにあるかを確認しておく必要がある。
- ◆ 通勤途中や自宅周辺での AED 設置場所を確認しておくと、必要な場合に的確な場所を指示することができ、救命率が上がる。日頃から設置場所を確認する習慣をもつことが大切。

【消火訓練】

消火訓練	体験した (9)	体験していない (4)
消火方法は簡単だった（緊急時に対応出来る）(9)		
消火方法は難しかった (0)		
〈まとめ〉 「消火訓練は簡単だった」という意見が多数あった。但し、使用方法は簡単であっても、「実際に必要になった時に使えるか不安」「火を目の前にしたら怖いかも」といった意見もあった。消防士の方から、家庭に簡易消火スプレーを備えておくことや、揚げ物の火災の場合（天井に届かない程度）は、火柱の上の方から全体的に消火することなどを教わった。		



- ◆ 消火器の使い方は簡単だが、慌てている場合、ピンを早めに外したり、火に向けないうちに握って消火剤が無くなってしまったりするので落ち着いた行動が必要。
- ◆ 自分で初期消火が出来ない場合は無理をせず、「火事だ～」と大きな声で叫んで、周囲の人の助けを求める。